

○研究主題

「仲間と共に学び合う学習集団づくり」

～思考力・判断力・表現力の育成をめざす言語活動 — 論理的に思考する「考える」授業づくり～

1 研究の目的

- ・児童の国語力の向上
- ・共に学び合える児童の育成
- ・教師の授業力の向上

2 研究の内容

- ・日々の授業に生かす国語授業の工夫
- ・国語科における系統的な指導の追及
- ・授業実践を通しての課題追及

3 本年度推進の重点

○日々の授業改善に役立つ指導方法や系統指導の共通理解及び授業実践の促進。

- 事前協議（指導案検討・模擬授業）の実施と充実。
- 授業研究・協議会後の授業について再吟味し、本校の国語授業を確かなものにしていく。
- 個人の研究テーマを設定し、個々の課題に合った授業の向上をめざす。
- 協議会（全体会）活性化の工夫。協議で成果や課題、疑問点等を共有する。
（協議の視点の明確化・参観の仕方の工夫・少人数での協議など）

4 これまでの主な成果（○）と課題（●）

- 単元のゴールを明確にして導入することで、児童の主体的な取り組みを生み出し、単元計画を立て、学習を進めることができた。
- 物語の作品設定の読み取らせ方を繰り返し指導することで、登場人物等の変化に気づくことができるようになった。
- 相手意識、目的意識をもたせた交流を意図的に授業に組み入れることで、「話す」・「聞く」だけでなく、相手に「伝える」力もついてきた。
- 国語嫌いの児童を減らすことができた。
- 授業記録の効果的な蓄積方法の研究および校内での共有化
- 言語活動や指導の手立ての系統性の整理及び研究
- どの場面で学び合いが必要となるのか、何のために交流をさせるのかの検討

5 研究組織

